

良集

W 皇
911.147
H
M O

911.47
H

60589

海人手古良集



春



白あれゆねも霞もみずのハかき移てせめあやたあしりん
 ちちりせよこちりうまそていきかものほらごとてあつたのりそ
 かくせもとそまつくまひもあてなくむね文れうしをれそ
 にとあつる免もま風よ味たしはらりやをむん知あ井のむれ
 ころ人もみぬらも現るもあわいきはとこれのころあつた
 侍も海なこころれさし福もあつたあそひよ
 みらのくれはうきのもあつていうた免くいつ免かりまそあまもゆき
 あさかこのころり乃ちれくも海をそ急もほのうにかへかりそ
 けりもこころ海ゆよたれあそやれまひくよほあそつたあつた



やしろくのうしろひつたにいのたはよひのともせむいあひのーつら
おのくにあまのささるら阿きうれいこまき路なりやうとれたまらき

冬

わさかあろらうとろじきまた何ものまきちくー火あひなびら
みらのくれさろいまへみころいさなくもさめのおきうさ
こまもこさまのうてたにいりわくいさりい^{やま}たにわ^まま
たにろいさるすこまをくれいけーとあひのちんれ
ーも月乃ひるさうちれあろ死よいこも次のいぢまらら
よいららふこれをねよ目つきーのあろふ^まの^まくも
たーとり乃ちにまれたらもこまーやいさくーものタろね

雪きつらさうもろきうねもちあろみれーらわまにの
交いーゆさかろ人のみちもあまーれ路えてもさーさ
きーされお文人もむれわつこらあろまあまはかろ

あらしね意

いってなをみくれさうこもえてーはつららこひつすのま
あささるれさかろ人のみちのくろさういあもさな何ら
なけさつあーくうてよらぬまにさうさうせらのおこおハ
うさもよぬへくきーさみちのくのさこらかさいもせ
まらうこら神のみまらぬあろつこらひ神もまよさ
きみこらなださういりてよあこらあろいりくろこのね

きみは世は移たほしのとちふた川のすまいたのそと
むしるをともれちちのさゆれ今のはひともかきり
こー

思ひむしーのひくゆちうひひいまはたその神うゆーき
月

きくたのうくことにいさくあまはままやよいかかき
のあまきむきさのあまをたごたごの上まのあま
はひ

たごふときみともあふもたごたごなるなまーたのれちるさ
花

うちちりーる家花ーもあふ家こやこー乃花の川うせ
春乃花ようくひをむつふ

うくひとのこいたいちはさくをこかーれ口のようはちり
友をさるみきいあ大ごもは

かごちりねあさきれい友花のきいさーとあさともす
池水うくみかつる

いき水のこけきさうこあきかこさうあかこのみよゆた
あまのひかりのなまあり

こころとまきこびみさいのあまいこくあまのあま
あまののせむ

いつともなれらちる秘ううるをきたむきの神もみあこい
秋の夜は月こゆようぬ
あきのうは月をうふあれおもや

阿きのうはもみこころる存



私云此書者大納
師氏之作也

此一冊速水先生し本修用之書字千

寶曆六丙子年秋八月上旬

以藤原有親家



